

心不全にて入院した患者さんへお願い

<臨床研究に関して>

心不全患者さんはどんどん増え続けており、死亡率や心不全再増悪による再入院が多いことが問題です。“あなた自身”や“あなたの家族”にとって有益となることをねらい、私達は臨床データをまとめて情報発信しています。

臨床研究の名称	心不全患者に対する嚥下機能評価と介入の有益性に関する検討 ※本研究は春日井市民病院院長の許可を受けて実施しています
研究責任者	春日井市民病院 循環器内科 主任部長 小栗 光俊
研究の目的及び意義	年齢を重ねますと摂食嚥下機能が低下してしまう頻度が高まりますが、しばしば気づかれないことがあります。 心不全患者さんが嚥下機能の低下を伴うと、誤嚥性肺炎になったり、入院日数が長くなってしまうと報告されています。よって、可及的早く嚥下障害を発見して、介入につなげることが重要になってきます。日本循環器学会では、心不全患者さんに対して多職種チームによって、嚥下機能などの身体機能を含めた管理を行うことを推奨しています。本研究は学会の推奨に則っていることから、患者さん自身にとって有益となる可能性が高いと考えています。
研究実施期間	2024年6月1日から2028年5月31日まで
研究の方法	心不全にて入院された方に、質問票を用いて嚥下機能の評価を行います。その結果に基づいて、歯科口腔による口腔ケアやリハビリテーションを行います。
対象	心不全にて入院された75歳から85歳の方で、物忘れが強くなく、ご自身の管理を行うことができる方が対象です。
患者さんへの負担並びに予測されるリスク及び利益	一般に使用されています、嚥下評価のための質問票は1～2分間で完了することから、患者さんへの負担は少ないと考えます。また、口腔ケアやリハビリテーションの介入は、通常の医療内容ですので安全性が高いと考えます。

あなたの臨床データを使用に関して	この研究は、文書による同意を改めて取得することはありません。各患者さんのデータは、個人が特定されないように匿名化して電子カルテ端末に保存されます。しかし、あなたのデータを使用してほしいとお考えの場合はデータを削除しますので、申し出てください。たとえそのような場合でも、診療は変わらず行いますので、あなたが不利益を被ることはありません。
情報公開の方法	大学病院医療情報ネットワークが設置している公開データベースに本研究の概要を登録します。研究終了後にはその結果を登録します。なお、公表に際しては、患者個人が特定されないよう個人情報保護に十分配慮します。
個人情報の取扱いと保管・破棄について	各患者さんのデータは、電子カルテ端末内に匿名化して管理します。研究責任医師は、本研究実施に係る文書をデータとともに保存し、研究発表から5年経過後に適切な方法で破棄します。
資金源・利益相反について	本研究において、研究責任医師・研究分担医師の利益を優先させるような利益相反は存在しません。この研究は、特定の企業からの資金提供を受けていません。
患者さんの経済的負担について	この研究に参加いただくことで費用負担は増加しません。
問い合わせ先	<p>《本研究に関する問合せ先》</p> <p>〒486-8510 愛知県春日井市鷹来町1丁目1番地1 春日井市民病院 循環器内科 主任部長 小栗 光俊 電話：0568-57-0057（代表）</p> <p>《個人情報に関する窓口》</p> <p>〒486-8510 愛知県春日井市鷹来町1丁目1番地1 春日井市民病院 管理課 電話：0568-57-0057（代表）</p>